



# タイ教育旅行及び訪日旅行 のススメ



エス・エム・アイ・トラベル株式会社

## タイでの教育旅行及び訪日旅行についてのご案内

タイ国はアセアン10カ国の中でも昨年度（2017年）の訪日旅行者はおよそ99万人であり日本の各自治体および民間団体が最もプロモーション活動に力を注いでいる国の一つであると認識しております。

今回は1) 教育旅行 2) インバウンド（訪日旅行） 3) 農産品のプロモーション及びイベント 4) スポーツ文化交流の4つの分野をご案内させていただきます。

尚、資料画像は私どもSMIの通常業務で行われた写真をそのまま使用しておりますので、外注資料ではないことをお断りさせていただきます。

# 目次

- 1) 教育旅行
- 2) インバウンド（訪日）に向け
  - 旅行博（TITF）
  - 観光セミナー及び商談会
- 3) 農産品のプロモーション及びイベント
- 4) スポーツ・文化交流

# 1) 教育旅行・交流について

- ①ここで申し上げる教育旅行とは、一般的に日本で行われております大型の修学旅行を意味するものではありません。**20名前後の小グループ**で教育、交流、観光の3つの内容で各県の教育庁が企画。及び私学の高等学校や大学生のグループ旅行がターゲットとなります。
- ②アジア諸国では日本で言う「修学旅行」制度はございません。2014年7月より、ビザが撤廃されて以降、アジアから日本への渡航者が増えるとともに、教育旅行案件が増えてきております。特に東北などは人気がございます。理由として、東北の受け入れ側の学校（中学校・高等学校）では、海外交流に力を入れており、特に首長（知事、市長等）がインバウンド事業を視野に入れ、率先してサポート頂ける環境にあるためです。

③日本への訪問時につきましては、タイから通訳ガイドが同行致しますので、言葉の問題などは一切ございません。

日本での学校訪問時には施設の見学、教育交流、スポーツ、料理体験などが行われております。特に地方の学校はアジアでの人気度が高いです。

④時には私どもの提案でサクラの植樹、地方で行われている祭りへの参加、市長表敬訪問などが行われておりますが、各地方団体の首長（知事・市長）が非常に協力的です。

⑤日本からアジアへの教育旅行については日本の文部科学省が認定するSSH認可校またはSGH認可校が（別紙P7-8をご参照ください）海外との交流を活発化されているものと思います。

- ⑥弊社ではアジアから日本へ向けた教育旅行の企画、提案及び現地での教育視察のアポイント、教育交流に関してM.O.U.（覚書）締結のサポートも行っております。



# 東北でのSSH指定校

## SSH（スーパーサイエンスハイスクール）

**青森** 青森県立弘前南高等学校  
青森県立青森高等学校

**岩手** 岩手県立釜石高等学校  
岩手県立水沢高等学校

**宮城** 宮城県仙台第一高等学校  
宮城県仙台第三高等学校  
宮城県古川黎明中学校・高等学校

**秋田** 秋田県立秋田中央高等学校  
秋田県立秋田北鷹高等学校  
秋田県立大館鳳鳴高等学校

**山形** 山形県立鶴岡南高等学校  
山形県立東桜学館中学校・高等学校  
山形県立米沢興譲館高等学校

**福島** 福島県立会津学鳳高等学校・中学校  
福島県立福島高等学校

### SSHとは？

高等学校等において、先進的な理数教育を実施するとともに、高大接続の在り方について大学との共同研究や、国際性を育むための取組を推進します。また創造性、独創性を高める指導方法、教材の開発等の取組を実施します。

# 東北でのSGH指定校

## SGH（スーパーグローバルハイスクール）

**青森 青森県立青森高等学校（平成26年度指定）**

**岩手 岩手県立盛岡第一高等学校（平成27年度指定）**

**宮城 仙台白百合学園高等学校（平成27年度指定）**

### SGHとは？

高等学校等におけるグローバル・リーダー育成に資する教育を通して、生徒の社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身に付け、もって、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を図ることを目的としています。

スーパーグローバルハイスクールの高等学校等は、目指すべきグローバル人物像を設定し、国際化を進める国内外の大学を中心に、企業、国際機関等と連携を図り、グローバルな社会課題、ビジネス課題をテーマに横断的・総合的な学習、探究的な学習を行います。

学習活動において、課題研究のテーマに関する国内外のフィールドワークを実施し、高校生自身の目で見聞を広げ、挑戦することが求められます。

指定されている学校の目指すべき人物像や具体的な課題の設定、学習内容は、地域や学校の特性を生かしたものとなっております。

# 1) 教育旅行・交流

## バンコク市内の学校の紹介

◆バンコク・クリスチャン・カレッジ (BCC校) BANGKOK CRISTIAN COLLAGE



バンコクのサトーン通りにある165年の歴史を誇るタイで最古の一貫教育学校です。5,400名の生徒が勤勉に励んでおり卒業生には歴代の首相を数名輩出している私学の名門校でもあります。教師と生徒は共に海外との教育交流に積極的に取り組んでおり東北地方への教育旅行も毎年行っております。男子校になります。



首長によるタイ国での表敬訪問  
(BKKにて)



### 「研究発表」

統一テーマを決め毎年、日本と教育交流を行っております。

### 「タイボクシング体験」

教育だけでなくリスポーツにも力を注いでおります。日本の生徒さんにもムエタイを体験して頂きます。



BCC校では学校訪問だけではなく、ホームステイの手配も可能です。BCC校の父兄が送迎し、生徒さんを御自宅まで送っていただきます。各家庭では学校では勉強できない、タイでの生活様式を体験して頂きます。

生徒さんをお預かりする家庭により生活レベルが異なりますが、どちらの御家庭もタイの一般水準よりも高いレベルであると言えます。家庭内でのコミュニケーションは、タイ語ではなく英語が基本となりますので、生徒さんの英語能力を磨くとともに、国際社会の一端や異文化を体験し、タイや日本以外の海外を知る絶好の機会となります。



## ◆ ワチャラウッド王立学校 VAJIRAVUDH COLLAGE

1910年に創立したバンコクの王宮に隣接するタイ国唯一の王立学校です。

学校名のワチャラウッドとはラマ6世の名前であるということから学校の格式が伺えます。

広大な敷地と右の写真の通りお寺のような校舎はタイ国を雄弁に物語っております。タイのラグビーの発祥地としても知られております。英国の影響が強く、常時、英国人教師数名が、教鞭を振っております。



ラグビーの名門校



幼稚園から高等学校までの生徒（約800名）全員が寄宿生活を送っています。軍人、役人、地方の省庁のご子息が多く在籍しており、日本の文武両道を実践している一貫校です。

毎朝、全校生徒が45分間の朝礼を行い規律の厳しい生活を送っている姿からは、タイの仏門を思い起こさせます。男子校です。

## 「民族楽器体験」

音楽とスポーツは必修科目となっております。



◆ワッタナ・ウィタヤ・アカデミー WATTANA WITTAYA ACADEMY



スクンビット通りにあり第二次世界大戦にて日本陸軍が利用していた野戦病院の一部を今でも校舎として利用しております。タイのキリスト教会の財団傘下でありアメリカの長老派の任務により1874年に設立された、タイで最初の幼稚園となります。

市立女子高で幼稚園から高等学校までの一貫教育を行っております。

学校の主な目的は、読書、筆記、聖書研究、縫製の基礎でタイの若い女性を教育することでした。

1921年、キャンパスを現在の場所に移し、名前を「Wattana Wittaya Academy」に変更しております。



学校訪問時には生徒によるタイ舞踊講習会も行われております。

タイ料理教室も行われており、料理体験後には昼食として召し上がって頂きます。



## 2) インバウンド・訪日旅行の概要

タイ国において訪日の観光プロモーションで最も有名なものは、年に2回（2月と8月）行われている**タイ旅行博(TITF)**です。タイのアウトバウンド協会(TTAA)が毎年主催するもので、日本からは地方自治体、ホテル、バス会社、JRなど40-50団体のブースが毎年出店しており、人気度も日本のブースが最も高いです。



タイ国アウトバウンド協会が行っている来場者数がおよそ40万人も訪れるタイ旅行博（TITF）。アジアでは最大規模と言われております。

またJNTO主催のFIT FAIRも年に2回開催されており（訪日のための旅行博）、TITFと同様に日本から40-50の団体がサプライヤーとして参加しております。弊社でもWENDY TOUR（アウトバウンド専門）の名前で毎年ブースを出店しております。

弊社では訪日のためのサポート業務として下記の業務を行っております。



WENDY TOURの出展ブース

## 2) インバウンド（訪日旅行）における弊社のサポート業務

### 1：日本からのブースの出展について

弊社ではノウハウの提供と人材の派遣を行っております。

### 2：観光セミナー

地方自治体、民間団体等の依頼による観光セミナーに関して、現地アウトバウンド業者の選定、会場の提案、パンフレットの作成、及び人材の提供等のサポートを行っております。



観光セミナー



### 3 : 商談会について

訪日のための商談会には、会場の提案、ブースの設置、人材派遣、現地旅行業協会への案内等、ノウハウの提供を行っております。



日本のホテル、旅館、お土産屋、観光施設関係者主催の商談会。

### 3) 農産品のプロモーション及びイベント

観光プロモーションと同じように、地方自治体が積極的にアジアで行っているのが農産品のプロモーションです。

地酒、果物、牛肉等、地方の特産品を首長（知事、市長等）自らプレゼンする機会が多く、農水省、地方創成等の政府の補助金が後押ししているものと思われます。

アセアンの中でも特にタイ国は物流網の拠点であり、タイを足がかりに周辺国への輸出拡大を目指すという日本政府の方針が今後も続くものと思われます。

弊社では以下のサポートを行っております。

#### ①プロモーション会場の交渉及び予約

ホテル、デパート、大型ショッピングモール等、会場の予約交渉。



首長自らにトップセールスする機会が多い。今後も継続するものと思われます。

## ②会場の選定、企画、人材派遣等のサポート業務

自治体によっては農産品等の販売促進のため、地方のお祭りなどのイベントを行う場合もあり、この際のサポート業務



## ③メディアマーケティング/SNS活用

新聞、テレビ（デジタル、ケーブルテレビ等）、雑誌、広告等のメディアを利用する場合もあり、これらの企画

## 4) スポーツ・文化交流

スポーツ交流の目的としては、2020年に行われる東京オリンピック・パラリンピックの合宿誘致活動になります。オリンピックは東京を中心に行われますが、合宿は地方都市で数週間行われます。またこの間、各国のマスコミの露出度も高くなり、インバウンド及び農産品の販売促進にとっては最も効果的であると考えられています。

近頃、日本の地方自治体や各民間団体によるタイのスポーツ庁への訪問が目につきます。また、団体によっては海外との文化交流を目的に、アジアの国との友好協会を確立し、民間団体がスポーツ、文化、教育目的の投資まで、呼び込むための活動をしております。



タイ国バドミントン協会との合宿誘致のMOU(覚書)。



タイのスポーツ省とのMOU(覚書)。